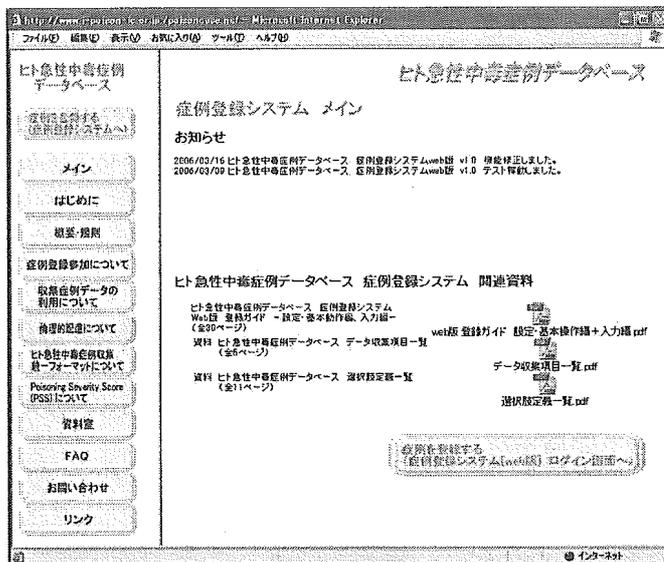


操作上の注意事項

1. ログイン後、無操作で60分間経過すると強制的にログアウトします。ログアウト前に入力したデータはすべて破棄されますので、ご注意ください。
2. ログイン以降、ウィンドウ、サブウィンドウを終了する際には、必ず「ログアウト」、「キャンセル」ボタンにて終了し、ウィンドウ右上の「X」ボタンは使用しないでください。ログイン画面のみ「X」ボタンで閉じてかまいません。
3. キー操作によるショートカットコマンドは使わないでください。登録不具合の原因となります。特に、Machintoshでは制御が不可能のため、使用可能となっています。
4. Machintoshでは入力終了後、必ずログアウトしてください。ブラウザの特性により、お気に入りなどよりシステムを起動すると、ログインせずに登録ができる場合があります。
5. MachintoshのInternet Explorerでは文字化けを起こす可能性があります。下記の手順で対処してください。
 - 1)編集→初期設定→言語/フォントを選択
 - 2)フォントとサイズ「ユニバーサル文字(UTF-8)」を選択
 - 3)各々のフォント設定のポップアップメニューで日本語フォントを選択
 - 4)日本語(自動判別)に戻す

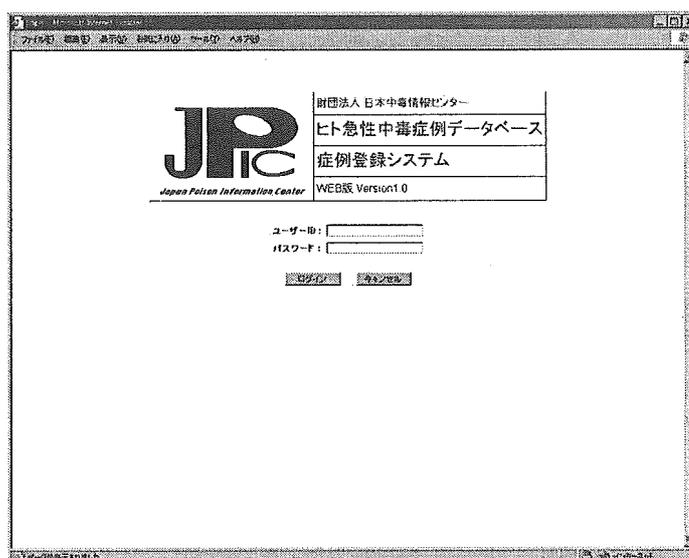
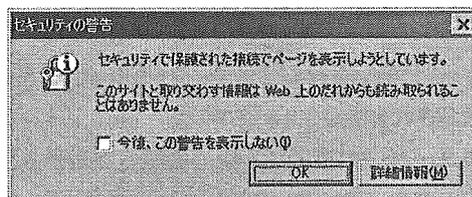
登録の流れ

1. <http://www.j-poison-ic.or.jp/poisoncase.nsf/>にアクセスし、症例登録システムのメインページを開きます。
症例を登録するボタンをクリックし、ログイン画面に入ります。



- * 事務局からの重要なお知らせ等を掲載しますので、必ずこのページにアクセスしてから症例登録システム[web版]ログイン画面へ移動してください。
“お気に入り”“ブックマーク”に登録する場合も、このページをお願いします。

2. セキュリティの警告ウィンドウが表示されますので、OK ボタンをクリックすると、ログイン画面が別ウィンドウで開きます。



- 事務局からご連絡した、ユーザーID およびパスワードを入力し、ログインボタンをクリックしてください。

3. 正常に認証された場合、症例入力画面が開きます。

* OS:Windows、ブラウザ:Internet Explorer の場合

ログイン画面が自動で閉じ、入力画面が別ウィンドウで開きます。

入力画面はポップアップウィンドウのため、メニューバー、アドレスバーなどは表示されません。

* OS:Windows、ブラウザ:Netscape の場合

入力画面が別ウィンドウで開きます。

入力画面はポップアップウィンドウのため、メニューバー、アドレスバーなどは表示されません。

* OS:Mac OS の場合

入力画面が別ウィンドウで開きます。

・画面構成

①ヘッダー部: 確認・登録のためのエリアです。

入力年月日 本日の日付が表示されます。

医療機関名 ログインしているユーザーが所属する医療機関名が表示されますのでご確認ください。

データ処理 **症例登録** 入力がすべて終了したらクリックします。
入力チェックを経て、エラーが存在しない場合に登録されます。**クリア** 入力内容をすべて破棄します。**ログアウト** 入力内容をすべて破棄し、ログイン画面に遷移します。入力切替表示 各入力画面へ遷移します。ログイン直後は**基本**画面が選択されています。

識別 基本画面で入力した識別を表示します。

性別 基本画面で入力した性別を表示します。

年齢 基本画面で入力した年齢を表示します。

申告物質 物質・経路の画面で入力した申告物質名を表示します。
複数物質入力の場合、最初に入力した申告物質名の後に、「他 ○件登録」と表示されます。

②入力部: 症例レコードの詳細入力エリアです。

ヘッダー部の入力切替ボタンにより、8画面に切り替わります。

③エラーリスト表示部: 入力チェック結果の表示エリアです。

登録 ボタンをクリックした際に、エラーが存在すると、エラーリストが入力部に重なって表示されます。

4. 症例データを入力します。

まず、**基本**画面を入力し、**転帰**、**物質・経路**、**症状**、**臨床化学検査**、**その他検査**、**治療**、**化学物質分析**の入力切替ボタンで各画面に切り替えて、入力します。

* 赤字は入力必須項目です。

* 物質・経路、症状、その他検査、治療、化学物質分析

・症例1件に対し複数データを登録することができます。

・画面切替時には、複数データを一覧表示するサマリーが表示されます。

・データを入力するには、**新規追加**ボタンをクリックすると、詳細入力画面が別ウィンドウで開きます。

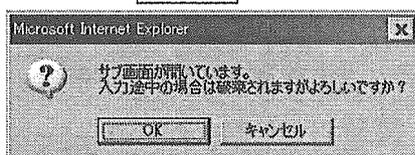
詳細入力画面をウィンドウ右上の **×** ボタンで終了させると、登録が正しく行われません。
必ず、**サマリー登録** ボタンか **キャンセル** ボタンで操作してください。

- ・データ入力が終わった時点でサマリー登録ボタンをクリックすると、エラーチェックが行われます。
エラーがあるとエラーメッセージが表示されます。



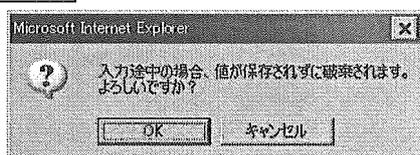
エラーがなければ詳細入力画面は自動で閉じ、入力したデータがサマリーに追加表示されます。

- ・詳細入力画面を開いている途中で画面切替ボタンをクリックすると、メッセージが表示されます。



OKを選択すると、詳細入力画面の入力内容が破棄されます。

- ・詳細入力画面でキャンセルボタンをクリックすると、メッセージが表示されます。



OKを選択すると、詳細入力画面の入力内容が破棄されます。

- ・サマリー登録データは、編集ボタンにより、詳細入力画面を開いて編集することができます。
変更を加えた場合、サマリー登録ボタンをクリックしない限り変更されないの、注意してください。

- ・削除する場合、サマリー画面で削除ボタンをクリックすると、メッセージが表示されます。



OKを選択すると、詳細入力画面の入力内容が破棄されます。

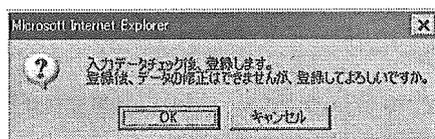
* 臨床化学検査

- ・複数回を登録することができます。4回目以降は追加ボタンをクリックしてください。
- ・4回目以降がある場合は、プルダウン選択により、3回分ずつ表示することが可能です。
- ・臨床化学検査入力前に受診年月日の入力必須です。入力がないとエラーメッセージが表示され、臨床化学検査画面に入ることができません。



* 各画面の入力内容については、入力編で詳細に説明しますので、指示に従って入力してください。

5. 入力が終了したら、**症例登録**ボタンをクリックします。



OKボタンをクリックすると、エラーチェックが行われます。

6. エラーが存在すると、エラーリストが表示されますので、指摘箇所を入力、修正します。
入力、修正の際には、**表示・非表示切替**ボタンで、エラーリストを隠すことができます。

No.	エラー項目名称	種別	エラー内容
1	性別	基本	必須ですが入力されていません。
2	性別	基本	必須ですが入力されていません。
3	年齢	基本	必須ですが入力されていません。
4	既往症の有無	基本	必須ですが入力されていません。
5	現病状/経過状況	基本	必須ですが入力されていません。
6	発症年月	基本	必須ですが入力されていません。
7	発症年月日	基本	必須ですが入力されていません。
8	発症時刻	基本	必須ですが入力されていません。
9	来院前-症状の有無	基本	必須ですが入力されていません。
10	来院時-処置の有無	基本	必須ですが入力されていません。
11	来院時-症状の有無	基本	必須ですが入力されていません。
12	来院後-処置の有無	基本	必須ですが入力されていません。
13	来院後-経過の有無	基本	必須ですが入力されていません。
14	診断	軽簿	必須ですが入力されていません。
15	症状との因果関係	軽簿	必須ですが入力されていません。
16	入院期間開始	軽簿	必須ですが入力されていません。
17	入院期間終了	軽簿	必須ですが入力されていません。
18	検査・経路	物質・経路	物質の内容が入力されていません。

7. すべてのエラーの修正が終わると、下記のように表示されますので、再度**症例登録**ボタンをクリックします。

8. 無事登録が終わるとメッセージが表示されます。
(同時にシステムから事務局宛に、登録通知メールが自動送信されます。)



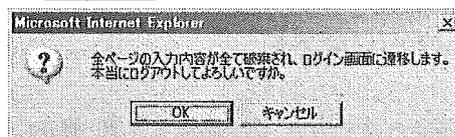
OKを選択すると、入力画面に戻ります。

キャンセルを選択すると、ログイン画面に戻ります。

9. 症例入力画面でヘッダ一部の「クリア」ボタンをクリックすると、メッセージが表示されます。

「OK」を選択すると、入力内容が破棄されます。

10. 症例入力画面でヘッダ一部の「ログアウト」ボタンをクリックすると、メッセージが表示されます。



「OK」を選択すると、入力内容が破棄され、ログイン画面に遷移します。

11. すべての作業が終了したら、必ずいったん「ログアウト」ボタンをクリックし、ログイン画面に戻ってから、

「X」でウィンドウを閉じてください。

ヒト急性中毒症例データベース

症例登録システム[web 版] 登録ガイド -入力編-

・次ページ以降で入力内容について詳細に説明しますので、その記載に準じ、基本的には全項目の入力をお願いします。どうしても入力が難しい項目は空欄のままで結構です。

・漢字・ひらがな・カタカナは全角で、英数字・記号は半角で入力してください。

・このガイドでは、入力項目・入力方式・入力ボタンを次の方法で表示しています。

入力項目 : 白色のボックス内に入力する項目です。

入力項目 : 赤字の項目は入力必須項目です。入力がない場合、エラーメッセージが表示され、入力が進められなくなる、あるいは登録できなくなりますので、ご注意ください。

入力方式 : 数値入力、テキスト入力、チェックボックスをチェック、プルダウンメニューから選択、カレンダーを開き、日付を選択入力のいずれかの方法で入力します。

入力ボタン : ボタンをクリックすると動作します。

・カレンダーを開き、日付を選択入力

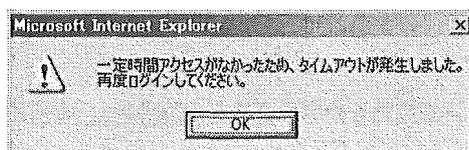
カレンダー ボタンをクリックすると、カレンダーが開きますので、該当する年月日をクリックします。

カレンダーを動かした場合、下記のようにプルダウンメニューの背面になることがありますが、システムの事情によるものですのでご了承ください。

The screenshot shows a web browser window displaying a registration form. The form is divided into several sections. At the top, there are tabs for '入力表示切替' (Input Display Switch) and '入力ボタン' (Input Button). Below this, there are fields for '入力年月日' (Input Date) and '医療機関名' (Medical Institution Name). The main form area contains various input fields for patient information, including '性別' (Sex), '年齢' (Age), '体重' (Weight), and '身長' (Height). There are also checkboxes for '男性' (Male) and '女性' (Female). A calendar widget is visible, showing the month of March 2006. The calendar is currently displaying the 19th of the month. The form also includes a section for '検査項目' (Test Items) with checkboxes for '陽性' (Positive) and '陰性' (Negative). At the bottom, there are buttons for '保存' (Save) and '印刷' (Print).

・ログアウト

ログイン後、無操作で 60 分間経過すると強制的にログアウトします。ログアウト後、入力画面の切替等を行うと、メッセージウィンドウが開きます。



ログアウト前に入力したデータはすべて破棄されますので、ご注意ください。

基本画面

症例登録システム:メイン画面 - Microsoft Internet Explorer

入力年月日 2006/03/18 医療機関名 財団法人日本中毒情報センター データ処理 症例登録 クリア ログアウト

入力表示切替 患者 転院 物質・経路 症状 臨床化学検査 その他検査 治療 化学物質分析

識別 YH750423 性別 女性 年齢 28歳5ヶ月 申告物質 入力見本 イタミストップ

赤字は入力必須です。

基本

患者背景	識別(20文字以内)	YH750423	性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input checked="" type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/> 不明	
	年齢	28歳 5ヶ月 <input checked="" type="checkbox"/> 確定 <input type="checkbox"/> 推定 <input type="checkbox"/> 歳代 <input type="checkbox"/> 不明	体重	49kg <input checked="" type="checkbox"/> 確定 <input type="checkbox"/> 推定 <input type="checkbox"/> 不明	
	人種・民族		職業	家事専従者	
	既往症有無	<input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 不明	既往歴内容	自覚神経失調症	
	肝疾患有無	<input type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 不明	肝疾患内容		
	腎疾患有無	<input type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 不明	腎疾患内容		
	薬物服用歴 (種類・量・頻度・含有成分)		飲酒歴 (種類・量・頻度)		
原因物質使用歴					
現病歴 曝露状況	親意識/曝露状況	長女出産後、育児に悩んでいた。10月10日、夫の出張中、衝動的に市販の解熱鎮痛剤を大量に摂取。翌日訪れた母親に昏睡状態で倒れているのを発見され、救急車で本院に搬送後緊急入院した。患者本人の体日服によりイタミストップ320錠を内服したとのこと。			
	発症場所	居住内	場所コメント	本人自宅	
	状況	故意 自殺企図	状況コメント		
	発症年月日	<input type="checkbox"/> 確定 <input checked="" type="checkbox"/> 推定 <input type="checkbox"/> 不明 2005/10/10 カレンダー	発症時刻	時刻不明で午前午後のみわかる場合はチェックしてください <input type="checkbox"/> 午前 <input type="checkbox"/> 午後 17:00 (24時間表記)	
	発症年月日	2005/10/11 カレンダー	発症時刻	12:00 (24時間表記) 受診まで 19時間	
	受傷面積				
	保護具の有無	<input type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 不明	保護具内容		
症状/処置	来院前	症状の有無	<input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 不明	処置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 不明
	来院時	症状の有無	<input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 不明	意識レベル	GCS = E <input type="checkbox"/> 1 <input checked="" type="checkbox"/> V <input type="checkbox"/> 1 M <input type="checkbox"/> 1 計 3
	来院後	症状の有無	<input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 不明	処置の有無	<input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 不明
	定住分析	薬物の有無	<input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 不明	乱用薬物スクリーニングテスト (キチン名、種別を示したバンド)	ドライエージ: すべて陰性
	薬物自動分析機器 (装置名、種別を示した物質)				
	その他の定住分析				

ページが表示されました インターネット

患者のバックグラウンドおよび中毒事故に関する情報を入力します。

識別 イニシャル、生年月日など、患者の識別が可能な範囲で適宜設定し、テキスト入力してください。

性別 男性・女性・不明のいずれかにチェックしてください。

年齢 数値入力し、その確実性に関し、確定・推定・歳代・不明の中から選択・チェックしてください。
20歳代としかわからない場合は、20歳と数値入力し、歳代をチェックしてください。

体重 数値入力し、その確実性に関し、確定・推定・不明の中から選択・チェックしてください。

人種・民族 患者の人種・民族などに関する情報があれば、できる限り詳細にテキスト入力してください。

職業 患者の職業に関して、次ページの定義を参考にプルダウンメニューから選択してください。

分類	定義	例
無職	現在、賃金労働に従事していない人	失業者、定年退職者、乳児
家事専従者	家事、子供及び配偶者の世話をしている女性または男性	主婦、主夫
農業従事者	農作物栽培、家畜飼育の仕事を行う人	米栽培農家、花き栽培農家
製造業従事者	大規模あるいは小規模で物質の抽出、加工及び製造作業に従事している人	工場従業員、研究所員
家内工業従事者	自宅において、殆どは独自の機器を用いて小規模製造に従事している人	内職従事者、従業員数名の鉄工所や自動車整備工場の従業員
販売業従事者	品物やサービスの売買を行う人	販売員、銀行員
サービス業従事者	他人へサービス提供することを仕事にしている人	医療関係者、救急隊、警察官、鉄道関係者、運送業者、教師、事務員
学生	施設で教育課程を受けている人	小学生、高校生、大学生、大学院生
その他	上記の分類に含まれない作業	漁業従事者
不明	職業に関する情報が入手できない場合	

既往歴有無 無し・有り・不明のいずれかにチェックしてください。

既往歴内容 既往症がある場合、できる限り詳細にテキスト入力してください。

肝疾患有無 既往症で肝疾患の有無がわかれば、無し・有り・不明のいずれかにチェックしてください。

肝疾患内容 既往症で肝疾患がある場合、できる限り詳細にテキスト入力してください。

腎疾患有無 既往症で腎疾患の有無がわかれば、無し・有り・不明のいずれかにチェックしてください。

腎疾患内容 既往症で腎疾患がある場合、できる限り詳細にテキスト入力してください。

薬物服用歴 薬物服用歴がわかれば、薬剤名、量、頻度、服薬期間等に関して入力してください。

飲酒歴 飲酒歴がわかれば、酒の種類、量、頻度等に関して入力してください。

原因物質使用歴 原因物質使用歴がわかれば、薬剤名、量、頻度、期間等に関して入力してください。
特に業務上の事故の場合、該当業務従事歴・使用薬剤名を入力してください。

現病歴・曝露状況 中毒事故に関する状況等をできる限り詳細にテキスト入力してください。

発生場所 中毒事故の発生場所に関して、下記の定義を参考にプルダウンメニューから選択してください。

大分類	定義	例
居住内	住居として使用されている場所。屋内だけでなく、庭、ベランダ、駐車場も該当。高齢者施設は除く。	自宅、自宅ベランダ、祖父宅庭、知人宅
仕事場	仕事として作業を行うための場所。農耕地(生産するための緑地)を含む。患者の職場であるとは限らない。	化学プラント、製鉄所、自動車修理工場、パン製造所、田、畑、ビニールハウス、企業研究所、事務所
医療施設	医療機関内全て。屋外も該当。	病院、診療所、救急車

大分類	定義	例
高齢者施設	高齢者が生活している、あるいは介護等をうけている集団施設全て。屋外含む。	特別養護老人ホーム、ケアハウス、老人グループホーム、老人保健施設
学校・幼稚園・保育所	教育、学習、指導のための場所。校庭などの屋外も該当。	幼稚園、保育所、小学校、中学校、高等学校、大学、大学院、専門学校
屋内の公共スペース	不特定多数の人が集まる可能性のある、公共の建造物。学校は除く。	デパート、薬局、レストラン、図書館、公民館、ホール、スポーツクラブ、空港、駅、バスターミナル、役所、銀行、ホテル、屋内駐車場、教会
車内	人々または物品の輸送に用いられる、輸送機関の車内。救急車を除く。	乗用車、トラック、バス、貨物列車、旅客列車、飛行機、ヘリコプター、グライダー、気球、タンカー、フェリー、プレジャーボート
屋外	上記以外の屋外、遮蔽のない開放的空間。	公園、景勝地、川、海
その他	上記以外の場所。	自衛隊敷地内、刑務所内
不明	場所が不明な場合	

* 場所および状況については、次ページに具体例を挙げましたので、ご参照ください。

場所コメント 中毒事故の発生場所に関して、上記選択肢よりも詳細な情報があれば、上の例を参考に自由にテキスト入力してください。

状況 中毒事故の発生状況に関して、下記の定義を参考にプルダウンメニューから選択してください。

大分類	中分類	定義	例
不慮	労災	患者の職場(屋外、屋内等問わない)における、業務上の作業中の事故。 農業での農薬散布の場合。(二次災害はここに分類する)	<ul style="list-style-type: none"> ・会社で実験中、手袋をしていなかったためにフッ酸が手に付着した ・清掃員が会社のトイレを掃除中、洗剤を吸ってしまった ・作業員が倉庫で荷積み中荷崩れ、中身が漏れ出して吸ってしまった ・農家の人が農薬散布中、風向きが変わり、少量吸ってしまった ・高速道でタンクローリーが横転、運転者がガスを吸った ・工場から有毒ガスが漏れ出し、従業員が吸入した ・工場から有毒ガスが漏れ出し、周辺警備の警察官が吸入した ・民家が火事になり、消防士が消火作業中に有毒ガスを吸入した ・看護師が中毒患者の治療中、二次汚染を受けた
	医療上の事故	医療従事者または一般の人が治療目的で投与した結果発生した事故全て。 医薬品の誤った量、正しくない投与経路、誤った人への投与、誤った物質の投与等の場合が含まれる。	<ul style="list-style-type: none"> ・病院内で別の患者の薬を間違えて投与した ・病院内で皮下注用製剤を静脈注射した ・薬局でラベルの貼り間違い、薬の入れ間違い ・家庭で赤ん坊に小学生の兄の薬を飲ませてしまった ・家庭で薬と間違えてお酒を飲ませた ・家庭で目薬をさすつもりが誤って近くにあって耳垢軟化剤を使用した ・家庭で母親が子供に飲ませたのに、父親がもう一度飲ませた ・保育所で、先生が預かっている子供に薬の量を間違えて飲ませた
	誤使用	あくまでも故意ではないが、判断能力のある人が誤使用した場合(使用法をよく読んでいない、誤解している等、本来の使用法であれば防ぐことのできた事故)。 有毒または無毒植物を誤認した場合も含む。治療目的の事故は含まない。	<ul style="list-style-type: none"> ・湯飲みに入っていた漂白剤希釈液を夫が知らずに飲んだ ・湯飲みに入っていた漂白剤希釈液を忘れて自分で飲んだ ・ペットボトル入りの自家製化粧水をドリンクと間違えて飲んだ ・レトルトのご飯に入っていた脱酸素剤をゴマと誤ってかけて食べた ・職場で、洗浄中のポットに入っていたお湯を使ってお茶を入れた ・サイホンの原理を利用しガンリン等を誤飲した ・不注意で漂白剤とアンモニアを混ぜ、有毒なガスが発生した ・風呂掃除していたら、カビとり剤を1本使い切っていた ・換気をせずに、カビとり剤を使った ・車庫の中で車のエンジンをかけっぱなしにしてしまった ・ゴボウと間違えてチョウセンアサガオの根を食べた
	その他の不慮の事故	労災、医療上の事故、誤使用以外の不慮と判っている事故。 小児、痴呆の患者、知的障害者等の誤飲事故はほとんどの場合、ここに分類する。	<ul style="list-style-type: none"> ・湯飲みに入っていた漂白剤希釈液を子供がいたずらしてなめた ・子供が勝手にシロップ剤を2回分飲んでしまっていた ・水銀体温計を割ってしまい、少量飲み込んだ ・家庭菜園で農薬散布中、風向きが変わり、少量吸ってしまった ・高速道でタンクローリーが横転、近隣住民がガスを吸った ・火事のところを通りかかり、煙を吸った ・水道水への混入
	不慮不明	不慮と判っているが、状況が不明の場合。	

大分類	中分類	定義	例
故意	自殺企図	自殺を目的とした場合。死ぬ意志がない場合(狂言、自傷行為等)も含む。	・夫婦喧嘩の末、腹いせに
	医療上の事故	精神的効果を得る以外の目的で、薬効を期待して過量に使用された(使用した)場合。	・良く効くと思って、痛み止めをわざわざ倍量飲んだ
	誤使用	精神的効果を得る以外の目的で、故意に不適切、正しくない使用をした場合。	・故意に混合させたり、殺虫剤を明らかに不適切に使用した
	乱用	精神的効果を得る目的で、故意に不適切・正しくない使用をした場合。シンナーを故意に吸入した場合。	・シンナーを故意に吸入した ・ガスパン遊びをした ・マジックマッシュルーム、5-Meo-DIPT 等の幻覚剤、覚せい剤を故意に使用した
	悪意による事故	他人から悪意をもって使用された場合や、被害を加えられた場合。 テロ・他殺・いじめを含む。	・ある団体が駅前でまいたホスゲンを吸った ・殺害目的の異物混入 ・殺害目的以外の異物混入 ・催涙ガスをかけられた
	故意その他	故意であるが、自殺企図、医療上の事故、誤使用、乱用、悪意以外の場合。	・なんとなく
	故意不明	故意と判っているが、状況が不明の場合。	・統合失調症患者で、問診が取れない状況である
その他	その他	不慮、故意以外の場合。	
不明	不明	不慮か故意かを含め、状況が不明の場合。	

* 場所および状況については、次ページに具体例を挙げましたので、ご参照ください。

状況コメント 中毒事故の発生状況に関して、上記選択肢よりも詳細な情報があれば、上の例を参考に自由にテキスト入力してください。

発生日時確度 発生日時に関する情報の確実性について、確定・推定・不明のいずれかにチェックしてください。

発生年月日 発生日時確度が確定・推定の場合は必須です。カレンダーを開き、日付を選択入力してください。

発生時刻 24 時間表記で数値入力し、午前・午後がわかればチェックしてください。

受診年月日 カレンダーを開き、日付を選択入力してください。

受診時刻 24 時間表記で数値入力し、午前・午後がわかればチェックしてください。
発生日時、受診日時がすべて入力されると、受診までの経過時間が横に自動表示されます。

受傷面積 経皮曝露の場合、できる限り具体的にテキスト入力してください。

応急処置までの時間 現場や救急車での処置等に関して、経過時間および処置内容を、できる限り具体的にテキスト入力してください。

- 保護具の有無** 業務上の事故等の場合、保護具について、無し・有り・不明のいずれかにチェックしてください。
- 保護具内容** 保護具を使用していた場合、その内容をできる限り具体的にテキスト入力してください。
- 飲酒の有無** 事故発生時の飲酒に関して、無し・有り・不明のいずれかにチェックしてください。
- 飲酒内容** 事故発生時に飲酒していた場合、酒の種類、量等に関してテキスト入力してください。
- 症状の有無** 来院前、来院時、来院後について、無し・有り・不明のいずれかにチェックしてください。
- 処置の有無** 来院前、来院後について、無し・有り・不明のいずれかにチェックしてください。
- 意識レベル** グラスゴーコーマスケール(GCS)で数値入力してください。
横に合計が自動表示されます。
- 初診時バイタル** 初診時の体温、血圧、脈拍数、呼吸数を数値入力してください。
- 定性分析実施の有無** 患者の血液、尿、吐物等の生体試料に関して、中毒原因物質の定性分析を行ったかどうか、無し・有り・不明のいずれかにチェックしてください。
- 乱用薬物スクリーニングキット** 生体試料に関して、乱用薬物スクリーニングキットを用いて定性分析を行った場合、生体試料の種類(血液、尿、吐物等)、使用したキットの名称、陽性を示したバンドをテキスト入力してください。
- 薬物自動分析装置** 生体試料に関して、薬物自動分析装置を用いて定性分析を行った場合、生体試料の種類(血液、尿、吐物等)、使用した装置の名称、陽性を示した物質についてテキスト入力してください。
- その他の定性分析** 生体試料に関して、その他の定性分析を行った場合、自由にテキスト入力してください。
- * 場所および状況の例**
- ・会社で実験中、手袋をしていなかったためにフッ酸が従業員の手に付着した
 - 製造業従事者／仕事場／労災
 - ・学校で実験中、手袋をしていなかったためにフッ酸が教師の手に付着した
 - サービス業従事者／学校／労災
 - ・学校で実験中、手袋をしていなかったためにフッ酸が生徒の手に付着した
 - 学生／学校／その他の誤使用
 - ・畑に農薬散布中、風向きが変わり、農業従事者が少量吸ってしまった
 - 農業従事者／仕事場／労災
 - ・畑に農薬散布中、風向きが変わり、隣家の主婦が少量吸ってしまった
 - 家事専従者／仕事場／その他の不慮の事故

- ・工場から有毒ガスが漏れ出し、従業員が吸入した
 - 製造業従事者／仕事場／労災
- ・工場から有毒ガスが漏れ出し、周辺警備の警察官が吸入した
 - サービス業従事者／仕事場／労災

- ・民家が火事になり、消防士が消火作業中に有毒ガスを吸入した
 - サービス業従事者／居住内／労災
- ・民家が火事になり、赤ん坊が有毒ガスを吸入した
 - 無職／居住内／その他の不慮の事故

- ・病院で中毒患者の治療中、看護師が二次汚染を受けた
 - サービス業従事者／医療施設／労災
- ・高速道でタンクローリーが横転、運転者がガスを吸った
 - サービス業従事者／車内／労災

転帰画面

入力年月日	2006/03/18	医療機関名	財団法人日本中毒情報センター	データ処理	症例登録	クリア	ログアウト	
入力表示切替	基本	等症	物質・経路	症状	臨床化学検査	その他検査	治療	化学物質分析
識別	YH750423	性別	女性	年齢	28歳5ヶ月	申告物質	入力見本 イタミストップ	

赤字は入力必須です。

転帰

転帰情報	診断	アセトアミノフェン過量摂取による急性肝障害	
	症状との因果関係	<input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 不明	内容 症状、経過より、因果関係は明らかである
	入院期間	2005/10/11	カレンダー ~ カレンダー
	外来通院期間 (退院後のフォローを含む)	2005/11/09	カレンダー ~ カレンダー
	転院	<input type="checkbox"/> 無し <input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 不明	転院目的 中毒以外の基礎疾患の治療
	転院目的その他内容		
	転帰	<input checked="" type="checkbox"/> 完治 <input type="checkbox"/> 略治 <input type="checkbox"/> 死亡 <input type="checkbox"/> 不明	
	死亡年月	カレンダー	時刻 (24時間表記)
	死因		
	後遺症	<input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 不明	後遺症内容
重症度	<input type="checkbox"/> 無症状 <input type="checkbox"/> 軽症 <input type="checkbox"/> 中等症 <input checked="" type="checkbox"/> 重症 <input type="checkbox"/> 死亡		
症例サマリー	自殺企図で、鎮痛剤320錠(アセトアミノフェン32g含有)を17時頃摂取した。翌日昏睡状態で倒れているのが発見された。摂取19時間後の受診時には、意識レベルⅢ-300、対光反射なし、痙攣、血圧低下、過呼吸、嘔吐があった。また GOT64IU/L、GPT29IU/L、LDH650IU/Lであった。胃洗浄を行い、活性炭と下剤投与し、大量輸液、強制利尿、昇圧薬の投与を行った。血液透析(3hr)を施行したところで意識が回復し、以		
主治医コメント	本症例は入院時昏睡状態でアセトアミノフェンを致死量を超過する量を内服したため予後が非常に悪化したが同日透析を施行したところ意識を回復し以降連日4日間血液透析を施行し、他に大量輸液、利尿剤、昇圧剤、吸着剤(活性炭)、下剤(マグネシウム)の投与を施行したところ全身状態は徐々に改善し急性期の処置の重要性を痛感した。また、アセトアミノフェンによる薬物中毒の急性肝障害の発症が懸念されるとの報告を		

患者の転帰に関する情報を入力します。

診断 診断に関して、テキスト入力してください。

症状との因果関係 物質と症状との因果関係に関し、無し・有り・不明のいずれかにチェックしてください。

症状との因果関係内容 物質と症状との因果関係の根拠など、自由にテキスト入力してください。

入院期間 入院日と退院日について、カレンダーを開き、日付を選択入力してください。
入院日、退院日が入力された場合、入院期間(日数)が横に自動表示されます。

外来通院期間 退院後のフォローを含め、通院開始年月日と終了年月日について、カレンダーを開き、日付を選択入力してください。
通院開始年月日と終了年月日が入力されると、通院期間(日数)が横に自動表示されます。

転院 無し・有り・不明のいずれかにチェックしてください。

転院目的 転院目的に関して、重症管理、略治フォロー、中毒以外の基礎疾患の治療、その他、不明のいずれかをプルダウンメニューから選択してください。

転院目的その他内容 その他の場合はテキスト入力してください。

- 転帰** 完治・略治・死亡・不明のいずれかにチェックしてください。
- 死亡年月** 死亡の場合、死亡年月日について、カレンダーを開き、日付を選択入力してください。
- 死亡時刻** 死亡の場合、24 時間表記で数値入力してください。
- 死因** 直接の死因をテキスト入力してください。
- 後遺症** 無し・有り・不明のいずれかにチェックしてください。
- 後遺症内容** 後遺症の内容に関して、自由にテキスト入力してください。
- 重症度** 無症状・軽症・中等症・重症・死亡のいずれかにチェックしてください。
- 症例サマリー** 出現症状、異常検査値、治療等に関して、特に時間経過および障害の程度がわかるようにテキスト入力してください。
- 主治医コメント** 中毒原因物質と症状の因果関係、事故発生の背景等を含め、先生のお感じになったことを自由にテキスト入力してください。

物質・経路画面

症例登録システム:メイン画面 - Microsoft Internet Explorer

入力年月日	2006/03/18	医療機関名	財団法人日本中毒情報センター	データ処理	症例登録	クリア	ログアウト	
入力表示切替	基本	転写	初再入力	症状	臨床化学検査	その他検査	治療	化学物質分析
識別	YH750423	性別	女性	年齢	28歳5ヶ月	申告物質	入力見本 イタミストップ	

物質・経路 新規追加

No	処理	申告物質名	曝露量	曝露量単位	経路
1	<input type="button" value="編集"/> <input type="button" value="削除"/>	入力見本 イタミストップ	320	その他	経口

物質・経路 - Microsoft Internet Explorer

赤字は入力必須です。

物質・経路	
申告物質名	入力見本 イタミストップ
物質コメント	1錠中アセトアミノフェン100mg含有
曝露量	<input checked="" type="checkbox"/> 確定 <input type="checkbox"/> 推定 <input type="checkbox"/> 不明 量 <input type="text" value="320"/> 単位 <input type="text" value="その他"/>
曝露量コメント	10錠320錠(アセトアミノフェン32g相当)

経路	コメント
<input type="text"/>	<input type="text"/>

ページが表示されました インターネット

中毒の原因物質とその曝露経路を入力します。複数物質ある場合は、物質ごとに入力できます。

- ・物質・経路画面に切り替えた時には、複数データを一覧表示するサマリーが表示されます。
- ・データ入力時には「新規追加」ボタンをクリックすると、物質・経路入力画面が別ウインドウで開きます。
- ・データ入力が終わった時点で「サマリー登録」ボタンをクリックすると、エラーチェックが行われます。

エラーがあるとエラーメッセージが表示されます。

エラーがなければ物質・経路入力画面は自動で閉じ、データがサマリーに追加表示されます。

- ・サマリー登録データは、「編集」ボタンにより、物質・経路入力画面を開いて編集することができます。
- ・削除する場合は、サマリー画面で該当するデータの「削除」ボタンをクリックします。
- ・物質・経路入力画面を開いている時に画面切替ボタンをクリックすると、メッセージが表示されます。

OKを選択すると、物質・経路入力画面の入力内容が破棄されます。

- ・物質・経路入力画面で「キャンセル」ボタンをクリックすると、メッセージが表示されます。

OKを選択すると、新規追加の場合は物質・経路入力画面の入力内容が破棄されます。編集の場合は、編集内容が保存されません。

- ・物質・経路入力画面をウインドウの「×」ボタンで終了させると、登録が正しく行われません。

必ず、「サマリー登録」ボタンか「キャンセル」ボタンで操作してください。

- 申告物質名** できるかぎり商品名で、むずかしければ一般名で、具体的にテキスト入力してください。
- 物質コメント** 物質の用途、含有成分などがわかれば、具体的にテキスト入力してください。
- 曝露量確度** 曝露量に関する情報の確実性について、確定・推定・不明のいずれかにチェックしてください。
- 曝露量** 曝露量確度が確定・推定の場合は、曝露量に関して、対応する量を数値入力してください。
- 単位** 曝露量確度が確定・推定の場合は、プルダウンメニューから選択してください。
プルダウンメニューにない場合は、その他を選択してください。
- 曝露量コメント** 曝露量に関して、自由にテキスト入力してください。
* 曝露量単位をプルダウン選択できない場合は、できるかぎり具体的にテキスト入力してください。
例) 30錠、1コ、1/2本、3cm
* 曝露量がある程度判明している場合であっても、幅がある場合や数値で入力できない場合は、曝露量確度は不明をチェックし、詳細は曝露量コメントにテキスト入力してください。
例) 50～100mL、なめた程度、ひとくち、大量、一瞬
- 経路** 別紙 ヒト急性中毒症例データベース 選択肢定義一覧を参考に、プルダウンメニューから選択してください。
複数経路入力する場合は、追加ボタンをクリックしてください。
例) 顔に浴びて眼と口に入った場合→経口、眼、経皮
- 経路コメント** 経路に関して、特記すべきことがあれば、テキスト入力してください。

症状画面

症例登録システムメイン画面 - Microsoft Internet Explorer

入力年月日	2006/03/18	医療機関名	財団法人日本中毒情報センター	データ処理	症例登録	クリア	ログアウト	
入力表示切替	基本	転送	物質・経路	症例	臨床化学検査	その他検査	治療	化学物質分析
識別	YH750423	性別	女性	年齢	28歳5ヶ月	申告物質	・入力見本 イタミストップ	

症状 新規追加

No	処理	器官別	登録症状	症状・徴候	出現年月日	消失年月日
1	編集 削除	神経・精神症状	意識障害	昏睡	2005/10/11	2005/10/11
2	編集 削除	神経・精神症状	痙攣	痙攣	2005/10/11	2005/10/11
3	編集 削除	循環器症状	頻脈	頻脈	2005/10/11	2005/10/11
4	編集	症状 - Microsoft Internet Explorer				

赤文字は入力必須です。

症状

症状情報	器官別	肝症状
	登録症状	肝臓の異常
	症状・徴候	肝炎
	出現日時 <small>確定・推定の場合は年月日を入力してください。</small>	<input type="checkbox"/> 確定 <input checked="" type="checkbox"/> 推定 <input type="checkbox"/> 不明 出現年月日 2005/10/11 カレンダー 時刻 22:00 (24時間表記)
	消失日時 <small>確定・推定の場合は年月日を入力してください。</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 確定 <input type="checkbox"/> 推定 <input type="checkbox"/> 不明 消失年月日 2005/10/20 カレンダー 時刻 6:00 (24時間表記)
特記事項		

ページが表示されました

複数症状入力が可能ですので、出現した全ての症状について、出現期間とともに入力してください。

- ・症状画面に切り替えた時には、複数データを一覧表示するサマリーが表示されます。
- ・データ入力時には新規追加ボタンをクリックすると、症状入力画面が別ウィンドウで開きます。
- ・データ入力が終わった時点でサマリー登録ボタンをクリックすると、エラーチェックが行われます。
エラーがあるとエラーメッセージが表示されます。

エラーがなければ症状入力画面は自動で閉じ、データがサマリーに追加表示されます。

- ・サマリー登録データは、編集ボタンにより、症状入力画面を開いて編集することができます。
- ・削除する場合は、サマリー画面で該当するデータの削除ボタンをクリックします。
- ・症状入力画面を開いている途中で画面切替ボタンをクリックすると、メッセージが表示されます。

OKを選択すると、症状入力画面の入力内容が破棄されます。

- ・症状入力画面でキャンセルボタンをクリックすると、メッセージが表示されます。

OKを選択すると、新規追加の場合は症状入力画面の入力内容が破棄されます。編集の場合は、編集内容が保存されません。

- ・症状入力画面をウィンドウの×ボタンで終了させると、登録が正しく行われません。

必ず、サマリー登録ボタンかキャンセルボタンで操作してください。

- 症状** 別紙 ヒト急性中毒症例データベース 選択肢定義一覧を参考に、器官別、登録症状、症状・徴候の順に、プルダウンメニューから選択してください。
- 出現日時確度** 出現日時に関する情報の確実性について、確定・推定・不明のいずれかにチェックしてください。
- 出現年月日** 出現日時が確定・推定の場合は、カレンダーを開き、日付を選択入力してください。
- 出現時刻** 24 時間表記で数値入力してください。
- 消失日時確度** 出現日時に関する情報の確実性について、確定・推定・不明のいずれかにチェックしてください。
- 消失年月日** 消失日時が確定・推定の場合は、カレンダーを開き、日付を選択入力してください。
- 消失時刻** 24 時間表記で数値入力してください。
- 特記事項** 症状に関して、特記すべきことがあれば、テキスト入力してください。
特に、意識レベル、体温、呼吸数、脈拍、血圧等、異常を客観的に表記できる値がある場合は、具体的な数値を入力してください。

* プルダウンメニューにない症状の場合

器官別、登録症状、症状・徴候ともその他を選択し、その症状の詳細を特記事項にテキスト入力してください。